

令和4年度

福島市立吾妻中学校経営ビジョン



【目指す学校像】

- ① 絶えず向上を目指す学校
- ② 思いやりに満ちいじめのない学校
- ③ 誇りと伝統を有する活力ある学校
- ④ 実効ある幼・保・小・中接続を進める学校
- ⑤ 地域・保護者に開かれた学校



基本方針

生徒が生き生きと力を伸ばせる学校を目指して

(知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成)

教育目標

『自立と敬愛』

I 知

学習に全力をつくす生徒

II 徳

たしかな行動のできる生徒

III 体

たくましい体を鍛える生徒

主体的に学習に取り組む生徒
学んだことを実践できる生徒

確かな学力

- 1 授業の充実
 - ① 望ましい学習習慣・家庭学習の定着の工夫
 - ② 互いに認め合う集団づくりの工夫
 - ・自己有用感を与える指導・支援
 - ③ 主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業づくり
- 2 指導力の向上
 - ① 教科の特質に応じた授業の質的改善
 - ・わかる授業・できる授業の実践
 - ② 目指す子どもの姿に基づく校内研修の充実
 - ・「互見授業」による研修の推進
- 3 特別支援教育の充実
 - ① 一人一人のニーズに応じた指導の充実
 - ② 交流及び共同学習の推進

人に感謝し、思いやりのある生徒
規律意識をもった生徒

豊かな心

- 1 基本的生活習慣等の確立
 - ① あいさつ運動等の充実と主体性の育成
 - ・TPOに応じた言葉遣い
 - ② 規範意識の確立と「いじめ」の根絶
 - ・指導体制の確立ときめ細かな指導の充実
- 2 道徳の時間と各教科等の関連
 - ① 「特別の教科 道徳」の時間の充実
 - ・「考え、議論する」道徳科授業の充実
 - ② 豊かな体験活動の充実
 - ・感謝や思いやりと社会性の育成
- 3 安心感のある学級・学習集団づくり
 - ① 学級経営方針の明確化
 - ・相手を尊重し、互いのよさを認める学級
 - ② 自己肯定感の醸成と不登校対策

自ら運動に取り組む生徒
規則正しい生活ができる生徒

健やかな体

- 1 保健体育を中心とする指導の充実
 - ① 体位・体力の向上を目指した指導
 - ・運動量確保のための内容・活動の充実
 - ・部活動等の積極的な取り組み
- 2 健康教育・放射線教育・防災教育の充実
 - ① 基本的生活習慣の確立
 - ・各教科や特別活動等との連携
 - ② 放射線の低減対策と生徒の心と体の健康
 - ・放射線教育とメンタル・ケアの実施
 - ③ 火災・地震・火山活動への防災教育の推進
- 3 食に関する指導の充実
 - ① 家庭や地域社会と連携を図った指導
 - ・食育等に関する啓発的な活動の充実
 - ② 給食指導の日常化と食の安全指導の充実

-5つの約束-

- 1 地域の復興を担う生きる力を身につけた生徒を育成します。
- 2 確かな学力の育成を目指す教育活動の推進に努めます。
- 3 自己指導能力の育成を目指す生徒指導の充実に努めます。
- 4 今日的な課題に対応する各種教育の充実に努めます。
- 5 「学校・家庭・地域」のコミュニケーションを密にします。

【具体的な実践】

- 1 職場訪問・職場体験・高校説明会等を通じたキャリア教育の推進
- 2 授業の充実、学習に関する調査の実施と事前・事後指導の徹底
- 3 積極的な生徒指導の推進、教育相談体制の充実と関係機関との連携
- 4 人権教育、図書館教育、情報教育等の充実とSDGs達成の意識化
- 5 幼・保・小・中の接続、学校の情報発信、総合的な学習の時間等での地域人材の活用